東稲ニュース

第 127 号　　早稲田大学校友会東久留米稲門会

2023 年　　1 月 10 日発行
発行責任者　高橋 哲男
編集責任者　片平　るみ

E-mail:bente-takahashi@jcom.home.ne.jp
http://higashikurume-toumonkai.com/
事務局　大矢 真弘　℡042-475-8532

会長年頭挨拶

東久留米稲門会会長　高橋　哲男

会員の皆様におきましては、ご健康で新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。日頃、稲門会活動にご支援、ご協力いただきましてありがとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

新型コロナウィルスにつきましては、ワクチン接種や飲み薬も使用可能であり、共存する社会生活に向け進んでいると思いますが、健康にはご配慮お願いします。

年初の予定として早稲オケコンサートの翌日の 1 月 15 日（日）に午後 2 時より新年会を開催する予定で新年会を盛り上げるためビンゴゲームを計画されておりますので宜しくご参加ください。

2023 年度の行事は、総会は 4 月 16 日（日）、講演会につきましては、講師東久留米市郷土資料室主任研究員井口直司氏によります昨年に続いて東久留米市をテーマとした「縄文とくるめと日本列島～ユニークな日本列島のへその緒」を講演する予定です。尚、このテーマで東久留米市の市民大学で講演をなさっていますが、今回は「くるめ」についての説明により時間をかける予定です。皆様の参加をお待ちしています。また秋の懇親会は 10 月~11 月、新年会は 2024 年 1 月の予定です。市民が多数参加します映画鑑賞会は会の行事として、新型コロナウィルス感染に最大限留意しなければなりませんが、3 年ぶりに 3 月 2（木）に再開を予定しています。また、来年は、創立 30 周年になりますので記念行事に向け検討を進めております。各部会におかれては、30 周年記念事業について今後ご協力をお願いがする場合もありますのでその時は宜しくお願いします。

本年度は、会員数につきましては、会員募集プロジェクトチーム等により、他の稲門会と同様に 7 年ぶりに前年比増加をして会員の減少に歯止めがかかりました。定年制延長等社会構造の変化に会員募集の環境が合致してきたと考えられますので引続き会員募集に努めて参ります。また、部会に未入会の会員は、定時総会等会の行事やウォーキングに参加して興味ある部会の活動状況の確認や質問等により部会と親しむことを提案します。

一昨年は、当会が東京三多摩支部の支部長を担当しましたが、26 の会の内会員数が 50 名未満が西ブロック 5 会、その他 100 名未満が全体で 6 会ありました。50 名未満の会では単独で会の行事や部活動の運営も苦労している状況で、役員が高齢化や硬直化している会では、会の活性化が乏しいように思われました。現状を考えると 26 市に稲門会が共存できるのが難しいと思われます。今後に向けて、当会として独立性を維持するか、主体的合併には、一定数の会員の維持と当会の組織力が必要と考えています。

昨年の商議員フォーラムで田中総長挨拶の中で駅伝、野球、ラクビーを中心としたスポーツ部が低迷しているので、まず、三部を復活させるために一口一万円の寄付金・スポーツ関係の応援資金により補助する話がありました。次回の早稲田学報に掲載の予定です。

最後に東久留米稲門会の発展と皆様の益々のご健勝とご多幸を心よりお祈りし、新年の挨拶とさせていただきます。

会の告知板

【部会予定】

1月14日（土）	ニューイヤーコンサート	15:00　武蔵野音大ベートーベンホール
1月15日（日）	新年会	14:00　成美教育文化会館
1月16日（月）	ウォーキング	飯能　龍崖山ハイキング
1月29日（日）	役員会	16:00　生涯学習センター
2月08日（水）	グルメ部会　韻松亭	
2月27日（月）	ウォーキング	青梅　吉野梅郷
3月02日（木）	第67回映画鑑賞会「鉄道員」	14:00　成美教育文化会館
4月02日（日）	臨時役員会	16:00　生涯学習センター
4月16日（日）	定期総会	14:00　成美教育文化会館

＜定例活動一覧＞　※コロナ禍により変更の可能性があります。

部 会	1月				2月			
	日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所
女性サークル	12	木	10:00-12:00	中央町地区センター	9	木	10:00-12:00	中央町地区センター
書 道	8	日	13:00	市民プラザ	12	日	13:00	生涯学習センター
俳 句	22	日	13:00	生涯学習センター	16	木	10:00	生涯学習センター
囲 碁	22	日	13:00	成美教育文化会館	26	日	13:00	成美教育文化会館
太極拳	14	土	10:00-12:00	成美教育文化会館	4	土	10:00-12:00	成美教育文化会館
	21	土	10:00-12:00	成美教育文化会館	18	土	10:00-12:00	成美教育文化会館
	28	土	10:00-12:00	成美教育文化会館	25	土	10:00-12:00	成美教育文化会館
ソフトボール	※	月	11:00-13:00	南町運動広場	※	月	11:00-13:00	南町運動広場
	※	月	11:00-13:00	南町運動広場	※	月	11:00-13:00	南町運動広場
バドミントン	毎週金		10:50～	東久留米ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ	毎週金		10:50～	東久留米ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ

※ソフトボールは、1月、2月は活動中止期間。3月から活動開始する予定。

【大学・校友会関係】

2月18日（土）　三多摩支部幹事長・事務局長会議　14:00-16:00

3月04日（土）　春季幹事長・事務局長会議・春季代議員会

会の報告

◎2022年度商議員フォーラムの報告

早稲田大学の２０２２年商議員フォーラムが１２月３日（土）１４時より大隈講堂において３年ぶり

の対面とオンラインで開催された。

亀井淳商議員会長からも３年ぶりにホームカミングデイや早稲田祭も実施することができ、皆さんとお会いできたことを嬉しく思うとの挨拶の後、田中愛治総長より新理事、監事の紹介、「W Vision150 and Beyond」、「早稲田の現状」、「スポーツ振興策」と「野球部・ラグビー部・駅伝への寄付」等の説明があり、今後、日本の１８歳人口は減少するが文系と理系の融合、全学部へのﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ教育、理工学部と教育学部の施設拡充、産学連携、カーボンニュートラル等を行い、２０４０年には日本、２０５０年にはアジアで最も入学して学ぶ価値のある大学になるとの力強い発言があった。

引き続き、学事報告として早大データ科学センター所長の松嶋敏泰教授から「ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽの早稲田を目指して　～社会と大学を変えるデータサイエンス～」という演題の講演、募金の報告とお願い、応援部によるステージパフォーマンス等があり、１６時３０分に閉会した。

大矢　真弘　記

◎早稲田大学校友会「東京都 23 区支部・東京三多摩支部合同会長懇話会」の報告

2022 年 12 月 18 日（日）15 時より中野サンプラザで 3 年ぶりに東京都 23 区支部・東京三多摩支部合同会長懇話会が開催された。東京 23 区・三多摩支部の 49 会の中で 40 会長、代理出席 6 会が参加した。（欠席 3 会）

東京 23 区支部金子事務局長司会で金森 23 区支部長の大学、校友会の支援と各会の共通問題点、会員数・高齢化等の情報交換の機会にとの挨拶後、萬代代表幹事より母校支援の依頼と稲門祭及び協力と寄付金のお礼、駅伝・野球・ラクビーへの支援金の依頼の挨拶、次に東京都 23 区・東京三多摩支部の活動報告、大島校友会常任幹事により乾杯にて宴会が開始された。

新会長 14 名と東京都選出の評議員 5 名の紹介、校歌斉唱後、小林東京三多摩支部長の挨拶で 17 時閉会となった。来年度の合同会長懇話会は、三多摩支部が担当する。

尚、中野サンプラザは来年 5 月、50 周年となるため改装の予定。

高橋　哲男　記

◎2022 年度　第 4 回役員会議事録

日　時　：2022 年 12 月 4 日（日）　16:00~17:10

場　所　：生涯学習センター　学習室４

出席者　高橋、吉田、山口、清水、河村、別処、前川、金子、有賀、山岡、平山、船津、梶井
　　塚越、吉川、大矢

高橋会長から開会の挨拶の後、以下の事項について報告や意見交換が行われた。

１　大学・校友会・近隣稲門会・三田会関係

（１）早大稲門祭　　10/23（日）　早稲田大学　　金子・片平

（２）小平稲門会　　11/12（土）　会員のみで開催

（３）東村山稲門会　　11/20（日）　来賓は大学関係者のみ

（４）商議員フォーラム　12/3（土）　早稲田大学　　高橋・大矢

（５）23 区・三多摩支部合同会長懇話会　　12/18（日）　中野ｻﾝﾌﾟﾗｻﾞ　　高橋
　　＊会費は６０００円だが、交通費のみ会から支出する。

（６）春季幹事長・事務局長会　3/4（土）　　早稲田大学　　大矢

（７）春季代議員会　　3/4（土）　　早稲田大学　　小山田・山口

２．秋の懇親会の振り返り

（１）座席はその都度違った会員と一緒になるように、くじ等で決めた方が良い。

（２）揚げ物等が多いので、そうではないものを多めに依頼できないか。

（３）料理が余った際のパックや輪ゴム、袋を用意した方が良い。

3．会長・部会長・役員忘年会
（1）日　時　：　12 月 4 日（日）18:00~
（2）場　所　：　「祥龍房」　℡ 042-475-5050
（3）会　費　：　3,500 円としたが、都の Go to eat の券を使うので、3,000 円とし、残金は稲門会への寄付とする。
（4）参加予定：　21 名（ 11/29 現在 ）
4．新年会
（1）日　時　：　2023 年 1 月 15 日（日）14:00~
（2）場　所　：　成美教育会館 3 階　大研修室
（3）その他　　①60 歳代の校友（138 名）にも案内した。
②参加申込締切　12/18（日）
③担当等　・受付：河村、山口　・進行：大矢（ｸﾚｶｰﾄﾞ購入）
・ﾋﾞﾝｺﾞｹﾞｰﾑ：金子、梶井、山岡
・参加者全員に景品がなくとも良いこととする。
5．2023 年度 第 29 回 定時総会
（1）日　時　：　2022 年 4 月 16 日（日）
（2）場　所　：　成美教育会館 1 階ギャラリー、3 階大研修室　＜予約済＞
（3）講演者の件　：　東久留米市の市民大学の講師に依頼予定
（4）その他　　：　50 代～60 代の校友にも案内する。
6．東稲会計 11 月末までの状況等
会計担当の清水氏より、会費納入者数は 132 名、大学からの補助金 252,000 円も振り込まれており、問題なく計画通りとなっているとの報告があった。
7．映画鑑賞会の件
2023 年　3/2（木）「鉄道員」を上映することとした。
＊1 月の印刷時にチラシとハガキを印刷し、1 月中旬に案内ハガキ出す。
8．広報関係
（1）東稲ニュースー記事の募集、印刷日時等
担当の有賀氏より編集概要の説明があり、今後の予定が以下のように決定した。
原稿締切：　12 月 28 日（水）
印 刷 日：　1 月 10 日（火）
＊16 時から印刷、綴じ込み等の作業は 17 時から生涯学習センター（学習室 4）
9．その他
（1）今後の役員会
2023 年　1/29（日）＜2/5（日）を変更＞・4/2（日）
10. サークル・部会関係
①　女性サークル　②ゴルフ　③囲碁　④俳句　⑤書道
⑥太極拳　⑦グルメ　⑧郷土研究　⑨ウォーキング＆山歩き
⑩カラオケ　⑪スポーツ観戦　⑫諸芸術鑑賞　⑬旅行同好会（部会長募集中）
⑭ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ　⑮マグカップの会　⑯ソフトボール
＊グルメ部会は来年 2 月 8 日（水）上野公園「韻松亭」にて実施（定員 18 名）
・次回役員会について
2023 年 1 月 29 日（日）16 時より、生涯学習センター　学習室 4

部会だより

【活動報告】

＜俳句部会＞

第 267 回　　11 月 18 日(金)
兼題：山茶花　納豆　　他当季雑詠二句
＜高点句＞

大いなる雑念ありと日向ぼこ	大久保泰司
納豆売りの声絶え久し昭和かな	橘優治
デカルトもカントも忘れ日向ぼこ	片平るみ
南禅寺紅まきたりし散り紅葉	横田慧子
ほろほろと散る山茶花や山の宿	比護喜一郎

＜自選一句＞

冬紅葉うっすら白き八ヶ岳	三浦洋子
久方に姑を偲んで納豆汁	川島知子
散りてなお山茶花色香凛として	馬場清彦

第 268 回　12 月　16 日（金）
兼題：　マスク　数へ日　　他当季雑詠二句
＜高点句＞

目と目と目物言いたげやマスク顔	川島知子
老いひとり米とぐ日暮れ寒鴉	杉本達夫
ワクチンの回数を問う冬の旅	三浦洋子

＜自選一句＞

裏庭を持ち上げてをり霜柱	片平るみ
数え日や八十路の坂は目の前に	橘優治
挨拶に疑念を残すマスク顔	馬場清彦
日記買ふ迷う三年五年用	本間信一
数え日や十まで指折り寝落ちの子	比護喜一郎
散り敷きてなほあでやかに紅葉散る	大久保泰司
うずくまる猫うらやまし日向ぼこ	横田慧子

片平　るみ　記

＜女性サークル＞

女性サークルの昼食会

晴天に恵まれた 12 月 8 日（木）、女性サークルでは、毎月の読書会に代えて昼食会が行われました。参加者 7 名が向かったのは、清瀬駅南口より徒歩２分のところにあるフランス料理店「アルブル」でした。このお店は、小ぶりであまり目立たない外観ですが、人気のお店のようで、帰る時に気が付いたのですが、“今日のランチは予約で満席です”との断り書きがお店の前に出ていました。

テーブルに着くと早速参加者の歓談が始まりました。色々な話題の中でも、東所沢にある「角川武蔵野ミュージアム」の話題では皆さんの関心も高く、行ったことのある方のお話を聞いて、行き方を尋ねたり女性サークルで行きましょうなどの声も出ました。ミュージアムにあるというあの高さ８ｍの巨大本棚を見てみたいものです。

食事はランチのコース料理で、「前菜　パン　魚または肉料理　デザート盛り合わせ　コーヒーまた

は紅茶」となっていてどれもおいしくいただきました。前菜やデザートは、一皿に少しずつ色々な品があって、どれも手の込んだお料理でした。女性にぴったりのお料理だと思ったので、店内のほとんどが女性客なのは納得です。

美味しい食事と歓談のひと時を楽しんだ昼食会でした。

吉川　明美　記

＜ラグビー観戦記＞

皆さんがこの記事を東稲ニュースで読んでいる今、ラグビー大学選手権の決勝が終わり優勝が決まっています。この記事は昨年の 12 月 26 日に書いているので中途半端な内容ですが少しだけ優勝の夢を見ながら書いています。

12 月 25 日大学選手権準々決勝は再びの早明戦となりました。3 週間前対抗戦で同じ明治と戦い明治に圧倒され 35 対 21 で力負けしています。

昨年の早稲田は 11 月、帝京に 49 対 17 で大敗、対慶応には 13 対 19 と冷や汗ものの逆転勝利と全く良いところを見出せず対抗戦を終えました。

正直な話、今回の明治には 7:3 で負けると覚悟して応援に出かけました。不安な気持ちでキックオフを迎える中、キャプテンの相良がケガから復帰し選手も落ちついたのか明治に先制攻撃で鮮やかなトライ、その後もミスはあるものの溌剌とプレーし見事リベンジし 27:21 で勝利しました。

正月の 2 日に早稲田ラグビーが見れる楽しみをプレゼントしてくれた選手の皆さんに感謝しかありません。又、太田尾監督の方針に不信感を持って 7 割方明治に負けると予想した不明を羞じるとともに、この記事を読みながら早稲田優勝を予想出来なかった大不明を反省して羞じている自分を夢見ながら、2 日の対京産大、8 日の対帝京戦（恐らく、よもや筑波大に負ける事は無いと思いますが！）

今度こそ温かく信頼して応援して行きたいと思います。

小野　泰右　記

＜ソフトボール＞

落球、トンネル、空振り、頑張ってサードフライ。

下手っぴーでも紅白戦では使うしかありません。何しろ１８人も集まることはありませんでしたので。

昔から野球はせいぜい母校の応援くらい、プレーには全く縁のなかった後期高齢者ですが、ルールだけはそこそこ知っています。熱心な部会長様のご指導よろしく、暫くは気持ち良〜く足を引っ張りつつ、手ごろな野外運動を満喫したいと思います。

坂井　淑晃　記

＜郷土研究＞

郷土研究会施設巡り

11 月 22 日(火)小春日和に恵まれ、晩秋の郷土施設を総勢 13 名で訪ねた。9 時 15 分滝山団地センターバス停付近に集合し、まず郷土資料室に向かった。

郷土資料室では宮本学芸員より展示品の説明があり、東久留米市内に確認されている遺跡は 138 箇所、時代的にみると、旧石器時代と縄文文化が圧倒的に多いという特徴があり、歴史展示室には故郷くるめに花開いた原始文化の一端が偲ばれるように、旧石器時代の石器類 145 点、縄文土器 115 点の他、縄文時代の石器類や装身具 70 点が展示されているとのことであった。また、現在も発掘調査は続けている。縄文時代後、弥生時代の土器がほとんど発掘されていないのは、弥生時代は水稲農業が中心であるので水稲農業には上流の水が冷たく農業に適さなかったので下流の土地に農業が移ったと推察される。

また、郷土資料室が設置されているわくわく健康プラザは、昔は早稲田大学の錬成道場であり、近くにあった海軍の通信基地と交流することもあった。

次の東京ガスミュージアムは、ガス灯展が開催されており、高橋学芸員及びスタッフによりガス点灯実演やガス灯及びガス器具や都市ガス供給の歴史、渋沢栄一ギャラリーの説明を受け、改めて東京ガスのガス事業について社会貢献度を認識した。尚、ガス灯会館は東京ガス本郷出張所から、くらし館は千住工場から移設されている。

昼食後、多摩六都科学館に向かった。展示室は、チャレンジの部屋、からだの部屋、しくみの部屋、自然の部屋、地球の部屋があるので全部を巡回する時間がないため個人で興味のある展示室を巡り、大型映像の「水の惑星」でタヒチ、モルティブ、ニューカレドニアのいのちあふれる海と楽園地球から星空を望み、星の世界に水を探す旅にでた。昼食後で画面に吸い込まれ何回かうっとりし、快適だった。次に本日のメインテーマであるプラネタリウム「全天 88 星座―光が語る天球の地図」で圏域出身のアーティストが描いたオリジナル星座絵とともに全天 88 星座の世界を鑑賞した。近くにプラネタリウムがあるので今後の余生で星座に関して研究することも楽しみなことである。ここのプラネタリウムの放映機は 1 億 4000 万個を超える星を写し出し、現在世界一であるがまもなく他国に 2 億個の放映機が設置される。

今回郷土研究については、10 年ぶりの実施で従来から構想をしていた企画を実施したが、郷土研究の当初から 21 年の実施事項を含めるとあらかた企画を出し尽くしてしまったと思えるので今後は「ウォーキング部会」のお世話になり、郷土に関するものを取り上げていきたいと思っている。

高橋　哲男　記

＜令和４年秋の懇親コンペ＞

11 月 21 日（月）、東久留米を出るときは小雨だったが 9 時頃からはあがるとの天気予報を信じて熊谷ゴルフ場に向かいました。ゴルフ場に着いた時には雨もあがり西の空には青空も出ていました。

今回は三田会８人、稲門会１０人と５組で久々に参加者の多いコンペとなりました。途中からお日様も顔を出し汗ばむ陽気の中、紅葉した木々を見ながら楽しくラウンドできました。前日、クラブの競技会があったとのことでグリーンが難しくセットされていたようで皆さんグリーンで苦労されていました。結果、優勝は三田会の中川さん、準優勝も三田会の佐武さんでした。稲門会はかろうじて３位に池田さんがはいりました。ベスグロはさすがの稲門会上原さんでした。終了後の表彰式もこのところコロナの影響で自粛していましたが３年ぶりに行いました。

金子　孝司　記

【今後の予定】

＜グルメ部会＞

グルメ部会から 2 月のご案内を申し上げます。お早目の申し込みをお願い致します。

◎日時：2 月 8 日（水）

◎会費：3,500 円

◎場所：上野の杜　「韻松亭」

明治 8 年創業 140 年の東京最古の割烹料亭で花籠膳（月）をお召し上がっていただきます。

◎行程

10 時 00 分　東久留米駅改札前に集合
10 時 14 分　準急池袋行に乗車
10 時 39 分　池袋着
10 時 54 分　池袋発　ＪＲ山手線乗車
11 時 11 分　上野着
11 時 25 分　上野東照宮で参拝　冬牡丹鑑賞
12 時 25 分　韻松亭着　会食

◎二次会は、ひばりヶ丘か東久留米で予定しております。
◎参加申し込み　お店の都合上、参加人数は 18 名に限定のため、先着順とさせていただきます。ご参加希望の方は、吉田又は高橋宛にご連絡ください。

吉田清郎　hibari_y@ybb.ne.jp 042-424-8090
高橋哲男　bente-takahashi@jcom.home.ne.jp 042-474-2366

◎申し込み期限：1 月 31 日（火）
※次回の予定：①浅草　米久（牛鍋）　or　②横浜馬車道　瀬里奈（ビーフシチュー）
or 重慶飯店（ランチ）

吉田　清郎　記

＜ウォーキング部会＞

2023 年 1 月 16 日（月）　飯能龍崖山を歩く　詳細は、部会長東海俊孝氏にお尋ねください。　12 月 12 日（火）の振替です。詳しい行程等はチラシを参照してください。
東海さんの連絡先：080-1205-9494　toshi-tokai@kvj.biglobe.ne.jp

ウォーキング＆山歩き部会　令和 5 年上半期　事業計画

予定月	期日	行く先
1	1.16　（月）	飯能　龍崖山ハイキング（12 月予定の延期）
2/3	2.27　（月）	青梅　吉野梅郷
3/4	3.27　（月）	大宮→氷川神社→大宮公園（桜：花見）
5	5.8　（月）	高山不動、関八州見晴台（山躑躅）
6	6.12　（月）	嵐山町　千年の園　ラベンダー園
7	7.10　（月）	行田市　古代蓮の里

東海　俊孝　記

東稲広報室

＜Table for children＞

この活動を始めて約 5 年になります。
「Table For Children」は会員の中でも一部の方にしか行き渡っていないと思います。それで、いきさつ、滝山子ども食堂について記してみることにしました。

きっかけとなったのは5年前のテレビ番組。社員食堂で料理の価格プラス10円を食べた人全員が支払っていました。これを企画したのが早稲田出身の男性でした。全国の社員食堂から一人10円ずつ集めてもかなりの金額になります。そのお金を恵まれない国の子どもらに送っているとのことです。感動しました。

当稲門会には、「東久留米の発展に寄与することを目的とする」という規約があります。映画会以外にこの目的に叶うことができないかと考えていました。「滝山子ども食堂」を少しでも支えることができないかと思いつきました。この食堂のことは以前から知っていましたので。役員会で承認を頂き、この活動をスタートさせました。

取り敢えずは、会員同士の飲み会の後、残ったお金をプールしていきました。けれどもなかなか寄付したい金額まで貯まりません。ある日天の助けかの様に第1回目の寄付をすることができました。

滝山子ども食堂は、西部地域センターで毎月2回木曜日に開かれています。コロナ禍の前に昨年逝去された石寺さんと調理を手伝いました。1回がボランティア分も含めて50人分。食材費は7000円くらいとのこと。商店や農家から現物支給があるのでかなり助かっているそうです。午後4時から8時迄の立ちっぱなしの作業に私たち二人は音を上げて三回で止めてしまいました。

これからも細々でもこの活動を続けていきたいと思っています。11月5日には1500円送金しました。

これからも皆様のご協力よろしくお願い致します。

河村　洋子　記

＜東久留米稲門会小田原城と北川温泉「つるや吉祥亭」・天城越えバス旅２日間（有志）＞

快晴の12月20日、総勢18名（男性13名、女性5名）でのバス旅行に参加した。東久留米市役所を8時に出発し、中央高速・圏央道を通り、先ずは小田原城を見学した。地元出身の東海氏の詳しい解説もあり、小田原城を本拠とした戦国大名小田原北条氏の実績をはじめ、小田原城の役割や徳川家との関わりなどしっかり学べた。お昼は、鈴廣かまぼこでは金目鯛の炙り飯等美味しく頂き、その後城ヶ崎海岸の吊り橋を見学し、夕方には宿泊地である「つるや吉祥亭」に到着した。宴会までの時間、大浴場や露天風呂に行き、バス旅の疲れを癒やした。宴会は数多くの海の幸をいただきながらお酒を飲み交わしながら親交を深めた。次の日は、8時宿舎出発で、河津七滝、浄蓮の滝を見学した。静寂の中で聞く滝の音は安らぎと同時に新年に向けた決意を醸し出してくれた。お昼は、京丸のうなめし。その後沼津港の市場で各自買い物をし、東名経由で東久留米に戻った。

今回の旅行は綿密に計画されており、時間通り進行した。また、静岡県全国旅行支援適用もあり、5000円の割引の他、2 日目のうなめしは殆どクーポンでいただいた。かかった費用以上に満足感を与えてくれた幹事の平山氏や会計の東海氏には深く感謝したい。

有賀　千歳　記

＜国際書画交流会展覧会＞

2022 年 11 月末に、当会の会員である福田稔氏が、ご自身の生徒さんの作品を含めた展覧会（全 75 点四段～師範の作品）を成美教育文化会館にて開催されました。稲門会の方を含め 93 名の観覧者で賑わい、質（生徒の書技向上、見る目を養う）・量（出品点数 75 点）・コスト（新規入会応募 2 名）とも、展覧会の目的はほぼ達成されたのこと。

福田会員は、書道を通じて国際交流を深めようと、NPO 法人を立ち上げるなどの活動をしていらっしゃいます。それ故か、展覧会には台湾の方の墨絵や油彩画なども掛けられ、国際色豊かなものになっていました。

また、来年の 3 月末、桜満開時を選び、東京都美術館で中国をはじめ海外 9 カ国作家の出品 500 点（日本 50 点）の「第 23 回 NPO 法人国際書画交流会 大展」も開催されます。

ますますのご活躍が期待されます。

片平 るみ 記

＜いなほ会より＞

いなほ会のご案内

近隣稲門会と運営している結婚相談所「いなほ会」について説明させていただきます。

いなほ会は 1988 年に早稲田大学校友会の下部組織「西東京稲門会」が創設した結婚相談室を 2012 年に「いなほ会協働事業プロジェクト」として再スタートさせたものです。現在、西東京稲門会を幹事として他8地区の稲門会（清瀬、小金井、国分寺、小平、立川、練馬、東久留米、東村山）が協働で運営しています。

2022 年 9 月末で登録会員は、30 代～50 代が多く、男性 50 数名、内早稲田卒が約 50%。女性は 90 数名で、内早稲田卒が 25%であり、男女とも早稲田卒は半数以下です。当会会員の子女並びに会員の紹介であれば学歴を問わず会員になることが出来ます。

いなほ会の活動は、ここ 2～3 年はコロナ禍で活動はできていませんが年 2 回の婚活パーティの他、個別の紹介をしています。

いなほ理事会には、安次峰前会長を引継いで 6 年前に理事に就任しましたが、毎月理事会が開催されます。当初は、理事会になかなか出席出来ませんでしたが、当会会員の子女が入会したことや 2019 年7月の武蔵野スイングホールの婚活パーティを見て、役員諸氏が懸命に若手子女の婚活が成功するよう応援しているので、いなほ会に協力するため会議には極力参加してきました。

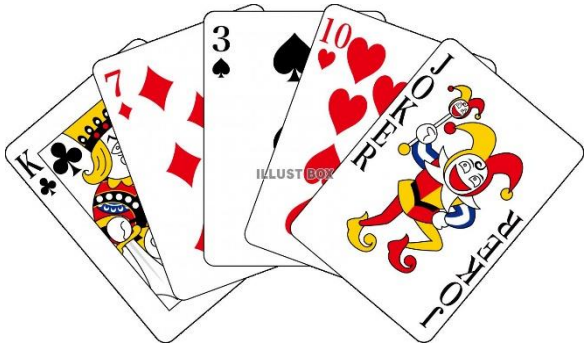
いなほ会は、ボランティアで結婚相談をしている団体ですので入会時に3，000円の事務費がかかるだけです。(成婚となった場合は、1 組 50,000 円の寄付が必要です。)いなほ会の登録会員にご自身の対象者がいなかった場合でも、経験豊かな会長を始めスタフからの助言により結婚に向けて貴重な体験となると思います。

高橋　哲男　記

＜コントラクトブリッジへのお誘い＞

コントラクトブリッジを御存知でしょうか？トランプゲームの中では唯一、国際共通ルールがあり世界中どこに行ってもプレイできます。旅行でハーバード大学を訪れた時、構内のベンチで学生が楽しんでいた記憶があります。歴史的には 19 世紀前半に現在の形になったようです。山本五十六、鄧小平、アイゼンハワー、ビルゲイツなどの有名人も愛好者だそうです。最近ではマインドスポーツとして 2018 年のアジア大会で正式種目になり日本からも参加しました。又、東大、早稲田でも講義があるとのことです。

プレイは 4 人で行い、向かいあったもの同士がペアを組みそれぞれが持っている 13 枚のカードを元にペアでとれるトリック数を競うものであります。私は 30 年ほど前までは四谷にあるブリッジ会館での大会に参加して楽しみました。



コントラクトブリッジをもっと知りたい方は日本コントラクトブリッジ連盟のホームページにアクセスしてください。　https://www.jcbl.or.jp

30 年ぶりにブリッジをやりたくなり東久留米稲門会の皆様をお誘いしました。興味のある方は下記に連絡願います。

連絡先：金子孝司（４９年卒）

Tel：090-2626-3506

e-mail:cgm.knk@gmail.com

金子　孝司　記

『ＢＯＣＣＩＡ』

優勝！！　都大会へ

昨年 12 月 10 日に行われたボッチャ競技の東京都市町村大会、東久留米選考会に東久留米稲門会より 2 チームが参加し坊ちゃんズチームが全勝優勝、嬢ちゃんズチームが 5 位に食い込みました。

坊ちゃんズ…東海、坂井、渡辺

嬢ちゃんズ…松崎夫妻、渡辺昌子

試合は 1 チーム 3 名で編成、2 ゲーム制で同点の場合はタイブレーク方式で行われました。この結果、優勝チームの坊ちゃんズチームは 1 月 28 日に立川市で行われる東京都市町村大会に東久留米市代表として出場することになりました。6 試合中、2 試合はタイブレークでの勝利というかなりの接戦でした。未だ競技経験も少なく、戦い方も十分習得していないままでの出場でした。

今後、研鑽を積み一層の前進を果したいと考えております。

渡辺　真司　記

＜市民大学短期コースの参加者募集について＞

来たる３月６日（月）13 日（月）20 日（月）に「エゴグラム」という講座名で稲門会員有賀千歳氏が講演を行います。実技を伴う演習形式の講演です。自分の性格を知りたい方、パートナー等相手との良い関係を築きたい方は是非参加してみてください。ヒントになることがあるかもしれません。「市広報ひがしくるめ令和５年１月７ 日号」にて募集します。応募すれば、どなたでも参加できますので家族、知人等にも知らせていただければ幸いです。

＜会員リレーエッセイ＞　噴水広場

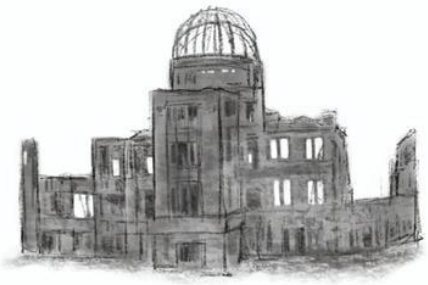
父の戦争体験と広島に思いを馳せる

山岡恭子 s53 教育学部英語英文卒

実家は練馬区にあるが、元々父は広島市の出身である。今年 94 才の父は、1945 年８月６日の原爆投下時、広島日赤病院近くの爆心地半径 1,4㎞の所に住んでいた。その日は採用が決まった代用教員の就任式で、真新しい服と靴を前に、父は緊張と期待で家を出る準備をしていた。真夏の暑い日、朝方の空襲警報が解除され、家の中にはホッとした空気が漂っていた。そのような中で突然の投下。原爆が炸裂した瞬間、辺り一面は真っ暗になり、庭先に爆弾が落ちたかと思った父は、死を覚悟したそうだ。しかし家は頑丈で、傾いただけだった。状況は把握できなかったが、とにかく逃げなければ！祖母の「先に逃げて。私はあとから近所の人と逃げるから」と言う言葉に、父は１人で逃げることとなった。とっさに、本能的に、非常持ち出し袋にお米と靴下を詰め、避難開始。逃げる先々で、被爆した人たちの惨状を目の当たりにした。市内太田川に水を求めて押し寄せる人たち。息絶えている人たち…父の話の中で特に痛ましいのは、ペンキ工場での話。閃光で火傷を負った人たちが、痛みを和らげようと、我先にと赤や黄色の油性ペンキを焼けただれた皮膚にペタペタと塗っていたそうだ。

夕方、多くの人たちが逃げて行った飛行場では、遠く市内上空が赤く染まるのが見えた。市内は炎に包まれ焼け野原となり、父の家も失くなった。幸いにも父は黒い雨にも会わず、健康には問題がなかった。戦後、広島復興計画のため家の大半が召し上げられたり、様々な艱難に耐え乗り越え、今は平穏に暮らしている。その父も最近は気力が衰え始めている。父の記憶が確かなうちに、私は父の昔の話を聞いておくことにした。

数々のエピソードの中で、原爆以外で印象的だったのは、呉港で学徒動員に従事していた頃のことだ。当時呉港は軍港で、多くの戦艦が入港、停泊していた。父の任務は、タグボートの簡単な操作、石炭くべや人間魚雷の個数の点検等。人間魚雷には脱出装置がなく、父は強く衝撃を受けたそうだ。そんなある日、国民的人気の戦艦大和が修理のため入港し、生徒の間ではその話で持ちきりだった。友人と父は大胆にも大和潜入作戦を立て、決行。憲兵の目をかいくぐり潜入に成功。艦内を探索したそうだ。その時の心境はワクワク、ハラハラ、ドキドキ…手に汗握るシーン。もしも、その時憲兵に捕まってでもいたなら…。



また呉軍港空襲では、敵機グラマンの大群が来襲した。父たちは防空壕で息をひそめて空からの襲撃を眺めていた。パラパラと雨のように爆弾が降って来る。友人はつい防空壕から身を乗り出してしまい、腕を負傷した。海に打ち込まれた機銃掃射の衝撃で、スズキが気絶、絶命し、大量の魚がプカプカと湾に浮かんだと言う。敵機が去った後、そのスズキを船長はじめ皆で捕り、お刺身にして食べた。ひもじかった時代の、一同の美味しい思い出だったと言うのが悲しい。

さて、父の話によれば、実家は昔、広島藩下級藩士で、明治時代に宮大工となり工務店を営んでいたそうだ。自分の先祖が厳島神社や鳥居の修復、保全に関わっていたとは、ちょっと誇らしい。そのお導きなのか、広島にはご縁がある。

早大理工卒の長男が偶然にも初就職した自動車メーカーが広島。その長男が出会ったお嫁さんが広島、呉の人。結婚式も広島。孫の誕生も広島。私も広島生まれだ。以前、海外からの視察に随行した通訳ガイドの私の担当も広島だった。

広島と言えば、私は不思議な体験をしたことがある。原爆ドーム至近のホテルに一人で泊まっていた深夜1時過ぎ。誰か帰ってきたようでエレベーターホール付近が妙に賑やかだ。楽しそうに談笑する親子の声が今でも耳に残っている。大声なのになぜか言葉が聞き取れない。子供は小学生のようだ。仲のよさそうな笑い声。それにしても深夜いつまでも騒がしくて、全くもう！睨みを聞かせよう!と思いドアをサッと開けた。しかしエレベーターホールに人影はない…誰もいない…声もピタッと止まった。不思議だ…場所が場所だけに…原爆で一瞬にして命を落とした親子の魂が、未だに自分たちの死を自覚しないまま、はしゃいでいたのかも知れない、と思った。原爆投下の瞬間、父が庭先にでも出ていたら私にしても生まれてはいなかった。偶然に左右される命。これまで特別な事もなく、いたって平凡な私の人生ではあったが、父の話からは、平凡こそが最高と思えるようになった。

ここまで書いて、原稿を父に見て貰った。すると普段は強気の父が、読みながらポロポロと涙をこぼした。胸の中にたまっていたものが一気にこみ上げて来たようだ。父の心の中に未だ癒えない傷があるのを私は初めて知った。

2022年現在、感染症や戦争の影が平穏な日常を脅かそうとしている。このタイミングで父の話が聞けて本当に良かった。戦争は遠いものではなかった。平和ボケしていた私だが、これからの時代を生きる子供や孫の世代が、一度きりの人生を平凡でも全うできるような世であるように…とつくづく、より一層思うようになった。ささやかながら、今私にできることは何かないかと考える日々である

◎編集後記

今回も皆様の個性豊かな投稿が集まり、素晴らしい東稲ニュースが完成した。フランス文学者の鹿島茂さんの「異文化だからこそ、興味を持つ。それが自分の世界を広くする。」という言葉を思い出す。私もその言葉に感化され、自分がやってきたこと以外のことを取り組むことこそ自分を高めることだと考えていたが、今回の東稲ニュースを編集して改めて間違ってはいないことを実感している。　（有賀）

編集委員：有賀 千歳（今回の担当）、片平 るみ

東久留米稲門会ＨＰへのアクセスは、
左記ＱＲコードからできます。